

東山彰良さんトークショー

共催：九州女子大学 図書館司書課程
協力：北九州市立門司図書館

&ビブリオバトル 

10月22日(日)に直木賞作家の東山彰良さんをお招きして、トークショーとビブリオバトルを開催しました!



第一部はビブリオバトルです。ビブリオバトルとは、発表者(バトラー)がそれぞれオススメの本を1冊5分でプレゼンし、来場者全員の投票で「いま一番読みたい」チャンプ本を選ぶ、書評合戦です。九州女子大学の図書館司書課程の皆さんが進行してくれました。

バトラー4人による熱いプレゼンの結果『どろぼうねこのおやぶんさん』がチャンプ本に選ばれ、東山さんから表彰状が手渡されました。

チャンプ本以外の紹介本もどれも魅力的で、読んでみたいと思わされる作品ばかりでした。

=今回紹介された本=

- 『あまんじゃく』(早川書房)
- 『どろぼうねこのおやぶんさん』(文芸社)
- 『自由研究には向かない殺人』(東京創元社)
- 『黒後家蜘蛛の会』(東京創元社)



第二部は東山彰良さんのトークショーです。

昨年のイベントでの、もっとたくさん東山さんの話が聞きたいというお声を受け、今回は観覧者からの質問に答えていただく形式のトークショーとなりました。まずは事前に募集した質問からはじまり、その後会場の皆さんからの直接質問に移りました。



今後の出版業界についてや読書離れに関する考えなど質問は多岐にわたり、どの質問にも真摯にお話される様子に、皆さんは終始引き込まれていました。その洗練された語り口は、まるで作品の文章そのもののようでした。

「自分が一番効率的に書ける時間に仕事をする」「あえて切りの悪いところでやめる」など、東山さん独特の執筆スタイルも披露され、作品を書き上げるために積み重ねられてきた努力を強く感じました。

現在新聞と月刊誌にて2作品を連載中の東山さん。

これからのご活躍が更に楽しみです。また八幡図書館のイベントにご参加いただけることを心待ちにしております！

東山彰良さん、バトラーさん、ご来場の皆さん、

ご参加ありがとうございました！